

令和3年度病害虫発生予察情報
特殊報 第1号

令和3年9月22日
青森県病害虫防除所

ネギハモグリバエ別系統の発生について

- 1 作物名 ねぎ
- 2 病害虫名 ネギハモグリバエ（別系統） *Liriomyza chinensis* Kato
- 3 発生経過
 - (1) 令和3年8月4日に中南地域のねぎ栽培ほ場において、ネギハモグリバエによる著しい食害痕や葉の白化症状が確認された（写真1）。この被害状況は従来のネギハモグリバエ（以下、A系統）と異なり、他都府県で発生が認められているネギハモグリバエ別系統（以下、B系統）による食害と類似していた。
 - (2) このため、採取した幼虫を羽化させ、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門に遺伝子解析を依頼したところ、本県では初確認となるB系統と同定された。
 - (3) B系統は、平成28年に京都府で確認されて以降、全国的に発生が認められており、東北地方では本県を除く5県で既に発生が確認されている。
- 4 被害の特徴等
 - (1) B系統はA系統に比べ1葉当たり幼虫数が多く、集中的に加害する傾向にある。
 - (2) B系統による初期の食害は、A系統と同様に不規則な白線状であるが、食害が進むと近接した複数の食害痕が癒合し、葉が白化する（写真1）。
 - (3) B系統の寄主範囲は解明されていないが、A系統はねぎのほか、たまねぎ等のネギ属植物を加害する。
- 5 形態及び生態
 - (1) B系統はA系統と形態的な差異が認められず、外観による識別は困難である。
 - (2) 幼虫はうじ虫状で、成長すると体長約4mmに達する（写真2左）。蛹は体長約3mmの褐色、俵状である（写真2中央）。成虫の体長は約2mmで、胸部と腹部は黒く、その他の部分は淡黄色である（写真2右）。
 - (3) 両系統とも成虫は葉の組織内に産卵し、ふ化した幼虫は葉の内部に潜り込んで葉肉を食害する。幼虫は成長すると葉から脱出し、地表又は土中で蛹になる。
- 6 防除対策
 - (1) 現在のところ、ネギハモグリバエの系統による違いで薬剤感受性が異なるとの報告はないため、薬剤防除に当たっては、「ネギハモグリバエ」又は「ハモグリバエ類」に適用のある薬剤を使用する（表1）。なお、抵抗性害虫出現防止のため、同一系統薬剤（IRACコードが同じ剤）の連用を避ける。
 - (2) 生育初期に寄生された場合は被害が大きくなるおそれがあるため、早期発見に努め、発生初期から防除を徹底する。
 - (3) 被害葉及び収穫残さはほ場内に放置せず、適切に処分する。

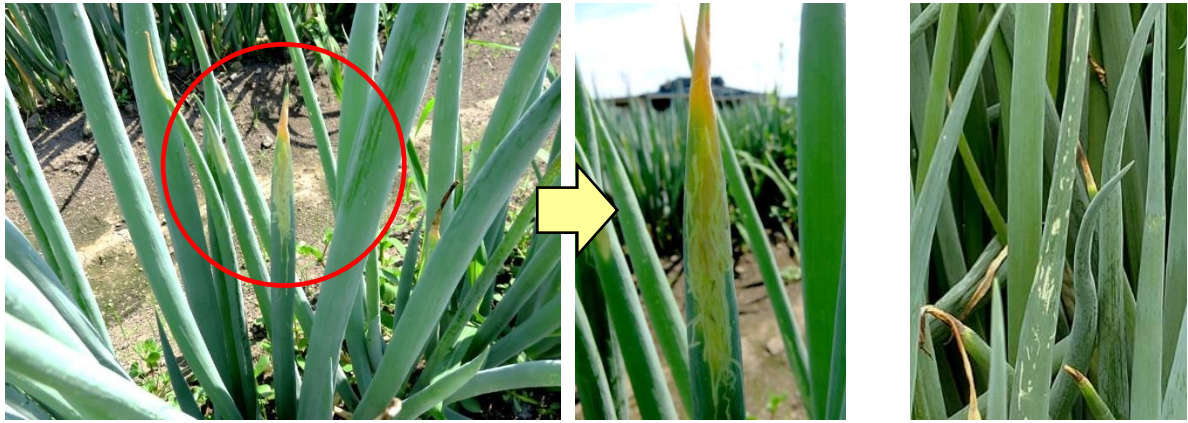


写真1 ネギハモグリバエB系統による食害痕

(参考) A系統の食害痕



写真2 ネギハモグリバエの幼虫(左)、蛹(中央)、成虫(右)

表1 ネギハモグリバエの主な防除薬剤(※はハモグリバエ類で登録)

農薬名	IRACコード	有効成分	使用時期	希釈倍数・使用量	使用回数
ベリマークSC※	28	シアントラニプロロール	育苗期後半～定植当日	400倍液をセル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～40)当たり0.50灌注	1回
プレバソンフロアブル5※	28	クロラントラニプロロール	育苗期後半～定植当日	100倍液をセル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～40)当たり0.50灌注	1回
キックオフ顆粒水和剤※	28	クロラントラニプロロール	定植前日～定植時	50倍液をセル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4.0)当たり0.50灌注	1回
	4A	ジノテフラン			
ジノテフラン水溶剤※	4A	ジノテフラン	定植前日～定植時	50倍液をセル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4.0)当たり0.50灌注	1回
ミネクトデュオ粒剤※	28	シアントラニプロロール	定植時	6kg/10a 植溝土壌混和	1回
	4A	チアトキサム			
ジノテフラン粒剤※	4A	ジノテフラン	定植時	6kg/10a 株元散布	1回
			生育期(収穫3日前)		2回
ダントツ粒剤	4A	クロチアニジン	収穫3日前	3～6kg/10a 株元散布	4回
ブリロッソ粒剤※	28	シアントラニプロロール	収穫前日	6kg/10a 株元散布	3回
ベネビアOD※	28	シアントラニプロロール	収穫前日	2000倍	3回
マラソン乳剤	1B	マラソン	収穫7日前	1000倍	6回
ダイアジノン水和剤34	1B	ダイアジノン	収穫21日前	600倍	2回
アグロスリン乳剤	3A	シベル外リン	収穫7日前	2000倍	5回
ディアナSC	5	スピネトラム	収穫前日	2500倍	2回
リーフガード顆粒水和剤	14	チオシクラム	収穫7日前	1500倍	2回
グレーシア乳剤※	30	フルキサメタミド	収穫7日前	2000～3000倍	2回
ファインセーブフロアブル	34	フロモキン	収穫3日前	2000倍	2回

- 注1) 令和3年度青森県農作物病害虫防除指針から農薬名を抜粋
 2) ジノテフラン水溶剤: スタークル顆粒水溶剤、アルバリン顆粒水溶剤
 3) ジノテフラン粒剤: スタークル粒剤、アルバリン粒剤
 4) 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

県民の皆さまへのお願い
 新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

【問合せ先】 青森県病害虫防除所
 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
 E-mail byogaichu@pref.aomori.lg.jp